

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月12日 ( 第1回 )
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	春日部市 11214
地域名 (地域内農業集落名)	内牧地域 (四方谷、戸崎、三堂半縄、高野山口、上原、内原、下原、大道、立山、谷向、坊荒、塚内)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	121.36 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	121.36 ha
② 田の面積	26.34 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	95.02 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	30.39 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.31 ha
(参考) 区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	61.58 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	40.87 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

<p>当地域は、田が約26.34ha、畑が約95.02haであり、春日部市の特産品である梨をはじめとした果樹の生産がされている市内屈指の果樹生産地である。</p> <p>野菜や果樹生産においては農業者団体が地域内にあり、それらの生産に力を入れている。個々の農業者で農地を利用している状況にあるため、今後の課題として畑の集約方法があげられる。</p> <p>水稲では個々の農業者と農業法人により、地域内の水田の作付を担っている。今後の課題として水田の農地集約および、畦畔除去等による区画の拡大があげられる。</p> <p>現状は他の地域と比べ担い手は多いものの、地域の農業者の半数以上が70歳以上であり、後継者も少ないため、今後は高齢化が進むにつれ、担い手不足が懸念されることから地域を支える若手の担い手確保が急務となっている。</p> <p><b>【地域の基礎的データ】</b>  農業者数:116人(うち70歳以上83人、71.5%)、中心経営体数:15人(地区内認定農業者10人、地区外認定農業者2名、基準到達者3人)  主な作物:水稲、野菜、果樹</p>
--

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

<p>水稲においては、現状の自作希望農業者の農地利用を維持しつつ自作希望農業者からの農地貸付意向がでた際には認定農業者や農業法人へ農地を集積・集約していく。野菜や果樹においては、現在観光農園や直売など様々な形で農産物を販売しており、今後も同様の形態でさらなる発展を目指していく。</p>
---

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
現在の自作農業者による農地利用を維持しつつ、各農業者の意向の変化に対応できるよう持続的な話し合いを行い、認定農業者や法人等へ段階的に農地の集積・集約化を進めて行く。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	18.6	%	将来の目標とする集積率
			56.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
地域内農地は、農業者の経営意向を踏まえながら、担い手に対し段階的に集約化を進める。その際、所有者の貸付意向時期にも配慮し、農地中間管理機構を通じた貸借を促進する。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
現在の自作農業者による農地利用を維持しつつ、各農業者の意向の変化に対応できるよう持続的な話し合いを行い、認定農業者や法人等へ農地の集積・集約化を段階的に進めて行く。
(2)農地中間管理機構の活用方法
集積・集約化を進めるにあたっては、農地中間管理機構を通じた農地の貸借を促進していく。その際、担い手の経営規模の意向や所有者の貸付意向時期にも配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
<b>一部の区域では機構営農地耕作条件改善事業の整備を予定している。</b> 引き続き、担い手の経営意向や改善事業による農地の集積・集約状況を踏まえ、地域の実情に沿った基盤整備を検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内の担い手については、法人化や後継者の継承なども含め地域の意向を踏まえながら、市及びJAと連携し適宜支援措置も活用して確保・育成をしていく。また、地域外の担い手参入や新規就農者の受け入れについても視野に入れる。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
地域内の作業効率化や遊休農地の発生防止を図るため、適宜必要となる作業について、農業支援サービス事業者等の作業委託を活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

⑤内牧地域は果樹等の産地として栄えてきたので、今後も畑を果樹の産地として継承していくことが重要である。そのため、後継者の育成やさらなる栽培技術の発展などを目指し取り組んでいく。

⑦地域の中心経営体である認定農業者や農業法人に農地の集積・集約化を図りつつ、個々の農業者と農地の管理をしていき、遊休農地が発生しないよう取り組んでいく。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

別紙のとおり
--------

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目
1	南彩農業協同組合	農作業受託	水稻等

6 目標地図(別添のとおり)

(留意事項)

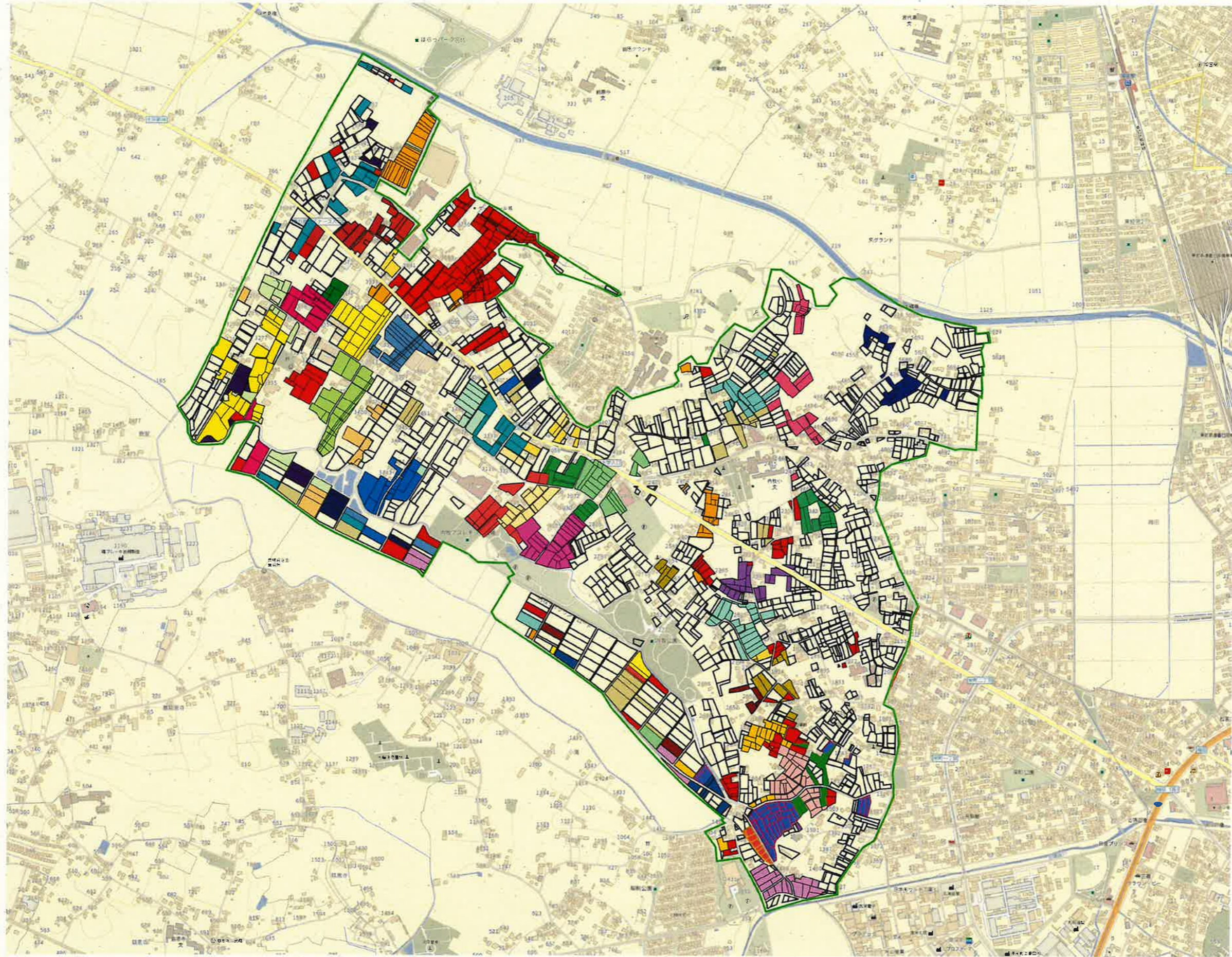
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができませんが、個人情報保有するにあたっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

## 4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和15年度)					
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考	
1	認農	認農A	果樹・水稲	4.95 ha	ha	果樹・水稲	5.04 ha	ha	認農A	
2	認農	認農B	水稲・露地野菜	1.92 ha	ha	水稲・露地野菜	4.01 ha	ha	認農B	
3	認農	認農C	果樹・露地野菜	1.99 ha	ha	果樹・露地野菜	1.99 ha	ha	認農C	
4	認農	認農D	露地野菜・水稲	1.41 ha	ha	露地野菜・水稲	1.87 ha	ha	認農D	
5	認農	認農E	果樹・水稲	1.58 ha	ha	果樹・水稲	1.58 ha	ha	認農E	
6	認農	認農F	施設野菜・水稲	1.79 ha	ha	施設野菜・水稲	1.79 ha	ha	認農F	
7	認農	認農G	果樹・水稲	1.51 ha	ha	果樹・水稲	1.51 ha	ha	認農G	
8	認農	認農H	果樹・水稲	1.45 ha	ha	果樹・水稲	1.45 ha	ha	認農H	
9	認農	認農I	水稲・野菜	0.39 ha	ha	水稲・野菜	1.59 ha	ha	認農I	
10	認農	認農J	果樹・水稲	1.36 ha	ha	果樹・水稲	1.40 ha	ha	認農J	
11	認農	認農K	水稲	0.26 ha	ha	水稲	0.26 ha	ha	認農K	新規候補
12	認農	認農L	水稲	0.00 ha	ha	水稲	0.24 ha	ha	認農L	新規候補
13	到達	到達A	水稲・野菜	1.74 ha	ha	水稲・野菜	1.74 ha	ha	到達A	
14	到達	到達B	施設野菜・水稲	1.34 ha	ha	施設野菜・水稲	1.47 ha	ha	到達B	
15	到達	到達C	水稲・果樹・野菜	0.98 ha	ha	水稲・果樹・野菜	0.87 ha	ha	到達C	
16	利用者	利用者A	水稲・果樹	2.37 ha	ha	水稲・果樹	2.37 ha	ha	利用者A	
17	利用者	利用者B	果樹・野菜	1.94 ha	ha	果樹・野菜	1.94 ha	ha	利用者B	
18	利用者	利用者C	水稲	1.79 ha	ha	水稲	1.05 ha	ha	利用者C	
19	利用者	利用者D	水稲・果樹	1.61 ha	ha	水稲・果樹	1.61 ha	ha	利用者D	
20	利用者	利用者E	水稲・野菜・花木類	1.57 ha	ha	水稲・野菜・花木類	1.57 ha	ha	利用者E	
21	利用者	利用者F	果樹	1.46 ha	ha	果樹	1.46 ha	ha	利用者F	
22	利用者	利用者G	果樹・水稲・野菜	1.33 ha	ha	果樹・水稲・野菜	1.33 ha	ha	利用者G	
23	利用者	利用者H	水稲・露地野菜	1.22 ha	ha	水稲・露地野菜	1.22 ha	ha	利用者H	新規候補
24	利用者	利用者I	果樹・野菜	1.21 ha	ha	果樹・野菜	1.21 ha	ha	利用者I	
25	利用者	利用者J	水稲	1.20 ha	ha	水稲	0.70 ha	ha	利用者J	新規候補
26	利用者	利用者K	果樹	1.13 ha	ha	果樹	1.13 ha	ha	利用者K	
27	利用者	利用者L	野菜・水稲・花木類	1.12 ha	ha	野菜・水稲・花木類	1.12 ha	ha	利用者L	
28	利用者	利用者M	水稲・果樹	1.11 ha	ha	水稲・果樹	1.11 ha	ha	利用者M	
29	利用者	利用者N	水稲・野菜・果樹	0.96 ha	ha	水稲・野菜・果樹	0.96 ha	ha	利用者N	
30	利用者	利用者O	野菜	0.79 ha	ha	野菜	1.37 ha	ha	利用者O	
31	利用者	利用者P	果樹・水稲・野菜	1.01 ha	ha	果樹・水稲・野菜	0.89 ha	ha	利用者P	
32	利用者	利用者Q	水稲	1.01 ha	ha	水稲	0.88 ha	ha	利用者Q	
33	利用者	利用者R	果樹・水稲・野菜	0.90 ha	ha	果樹・水稲・野菜	0.90 ha	ha	利用者R	新規候補
34	利用者	利用者S	水稲・野菜	0.90 ha	ha	水稲・野菜	0.90 ha	ha	利用者S	
35	利用者	利用者T	水稲	0.85 ha	ha	水稲	0.85 ha	ha	利用者T	
36	利用者	利用者U	水稲・野菜	0.77 ha	ha	水稲・野菜	0.77 ha	ha	利用者U	
37	利用者	利用者V	水稲・野菜	0.73 ha	ha	水稲・野菜	0.73 ha	ha	利用者V	
38	利用者	利用者W	野菜	0.59 ha	ha	野菜	0.59 ha	ha	利用者W	
39	利用者	利用者X	水稲	0.69 ha	ha	水稲	0.69 ha	ha	利用者X	
40	利用者	利用者Y	水稲・野菜	0.66 ha	ha	水稲・野菜	0.66 ha	ha	利用者Y	
41	利用者	利用者Z	果樹	0.55 ha	ha	果樹	0.55 ha	ha	利用者Z	
42	利用者	利用者AA	水稲・花木類	0.53 ha	ha	水稲・花木類	0.47 ha	ha	利用者AA	
43	利用者	利用者AB	野菜・水稲	0.55 ha	ha	野菜・水稲	0.55 ha	ha	利用者AB	
44	利用者	利用者AC	水稲・花木類	0.36 ha	ha	水稲・花木類	0.50 ha	ha	利用者AC	新規候補
45	利用者	利用者AD	茶	0.32 ha	ha	茶	0.32 ha	ha	利用者AD	
		45経営体	合計	53.90 ha	ha	合計	57.21 ha	ha		



目標地図(素案)

- 利用者 N
- 到達 A
- 利用者 I
- 到達 B
- 利用者 P
- 利用者 F
- 利用者 G
- 認農 F
- 利用者 E
- 認農 C
- 利用者 Y
- 認農 D
- 認農 B
- 利用者 D
- 利用者 B
- 利用者 R
- 認農 H
- 認農 J
- 利用者 A A
- 利用者 S
- 到達 C
- 利用者 A C
- 利用者 A B
- 利用者 H
- 利用者 K
- 利用者 Z
- 利用者 C
- 利用者 A D
- 認農 E
- 利用者 M
- 利用者 J
- 利用者 O
- 利用者 V
- 認農 G
- 利用者 L
- 利用者 T
- 利用者 W
- 利用者 U
- 利用者 Q
- 認農 K
- 利用者 X
- 認農 L
- 認農 I
- 認農 A